

KPI進捗管理表（★は総合計画掲載のKPI）

目指すべき姿	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R5年度1月末時点)				R5年度 中間実績値の分析 (1月末時点)	課題 (1月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R3	R4	R5	R6				
誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かに過ごせるまち	「松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち」だと考える市民の割合	%	58.9	61	63	65	年代別の実績値では、30代・40代が50%を下回っている。一方、50代以上の世代に加えて10代・20代で50%を上回る結果であり、近年の地域学習や文化体験イベント等による意識醸成の効果が一定現われていると考えられる。	特に30代を中心とした子育て世代をターゲットに、親子で伝統文化芸術を体験できる機会の確保を継続して実施していく必要があるとともに、世代ごとに手法を分けた情報発信の充実を図る必要がある。	毎年+2%	文化スポーツ部
			58.9	58.9	57.8	—				

KPI進捗管理表（★は総合計画掲載のKPI）

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R5年度は1月末実績)				R5年度 中間実績値の分析 (1月末時点)	課題 (1月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R3	R4	R5	R6				
 古代から近代までの 豊富な文化財	国・県・市指定等文化財の 新指定等件数	件	2	2	2	2	市指定文化財について、松江市文化財保護審議会へ諮問し、1件（奥古墳群出土品）を指定した。 「島根半島沿岸及び宍道湖・中海の漁撈用具」が国の登録有形民俗文化財に登録される見込み。	市指定文化財について、学術的な調査と文化財所有者の同意が必要である。	年2件以上の 指定・追加指定	文化スポーツ部
			2	2	1	—				
	★ 歴史的建造物登録認定数 【平成28年度からの累計】	件	17	18	19	20	令和6年1月に開催した、歴史的建造物保全活用審議会の中で松江市登録歴史的建造物登録候補1件について諮問し、「登録に異議なし」と答申を受けた。（令和6年度中に登録予定） 美保関にて歴史的建造物の一斉公開イベントを実施し、制度周知を図った。	さらなる制度周知により市内の歴史的建造物所有者に保全活用の理解を促す必要がある。 所在エリアの核となる存在として、登録物件を保全活用することでエリア全体の振興につながるよう戦略的に登録を進める必要がある。	毎年+1件	文化スポーツ部
			17	17	17	—				
	★ 松江城天守登閣数 【4月～3月】	人	445,000	445,000	450,000	460,000	天守への登閣者数は、昨年同月比と比較すると120.5%と増えてきているが、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年度同月比と比較すると79.2%となった。	県外や国外からの来場者が増え、ホームページを見てから来場する観光客も増えることが見込まれるため、魅力が伝わる形での情報発信の充実・強化が必要となる。	R11年度の標値 500,000人に向け、経年的に設定	文化スポーツ部
177,482			314,002	319,854	—					
 地域に根づく 伝統文化	(小6) 今住んでいる地域の行事に 参加している 児童生徒の割合	%	63.2	65	67	69	地域の行事は少しずつ再開しているが、参加児童の割合は目標値に届かない状況にある。密になる状況に対して慎重に対応している児童や家庭の割合が引き続き多い可能性がある。	地域の行事に関心を持てるよう、地域をフィールドにした学習・活動機会の確保が必要。	毎年+2%	教育委員会
			63.2	61.1	56.4	—				
	(中3) 今住んでいる地域の行事に 参加している 児童生徒の割合	%	46	48	50	52	地域の行事は少しずつ再開しているが、参加生徒の割合は目標値に届かない状況にある。地域の一員として、行事の計画や運営に加わるような機会を広げていくことが必要。	地域の一員として、行事の運営に携わるような仕掛け（あるいは体制）を構築すること。	毎年+2%	教育委員会
			45	37.6	34.3	—				
	松江祭鑿行列の参加者数	人	2,000	2,000	2,000	2,000	急なトラブルや新型コロナウイルス感染症により、当初参加予定であった団体が不参加になったものの、実施内容をコロナ禍前の状態に復活したことや、島根大附属義務教育学校の4年生が授業の一環で参加いただけただけのため、参加者数がコロナ禍前に戻りつつある。	各団体とも参加者の確保が困難になっている。地域の子供が減っているため、特に子どもの参加者確保が難しい。今後は地域外からの参加者や、学校を巻き込んだ実施を検討する必要がある。	1団体100人×20団体	文化スポーツ部
			0	1,000	1,700	—				
 市民生活に根づく 茶の湯文化	「松江藩ちやのゆの学校」受講者数 【4月～3月】	人	112	124	136	150	今年度は4回実施済みであり、3月に1回開催予定。過去の参加者からの口コミ等により認知度が向上してきたためと思われる。	認知度がまだ低く、参加を希望する団体が少ないため、情報発信を継続して強化する必要がある。	毎年+12人程度	文化スポーツ部
			0	34	62	—				
	明々庵及び赤山茶道会館の入館者数 【4月～3月】	人	12,350	13,212	13,212	13,212	年度当初は新型コロナウイルス感染症の影響が続いたものの、入館者数は前年比101.9%と順調に回復し1月末時点で目標値を上回った。 海外・国内の団体利用、市民の茶道体験利用などが、利用者増につながっている。	周辺施設との連携を一層強化し、施設活用を活性化させる。	[R3] H25-27平均の95% [R4-6] H28-31平均の95%	文化スポーツ部
			8,565	15,494	13,832	—				
	★ 出雲かんべの里工芸ショップ及び クラフト展での工芸品販売額 【4月～3月】	千円	4,245	5,370	6,495	7,620	「いろは舎」では企画展を実施する等、工夫をしながら運営を行った。6月に「大丸神戸店での展示販売」、10月に「丘のクラフト展」、12月に「CRANUMA」を開催。	・ 伝統を誇りに感じながら新たな挑戦を重ねる若い作り手を増やす。 ・ 作り手と使い手を繋ぐ場や商品開発をプロデュースできる事業者を増やす。 ・ 工芸品や、クラフトフェアが松江の新たな魅力となるよう取り組む。 ・ 工芸の魅力を観光誘客につなげる。 ・ 作り手を目指す人や工芸に関連する人材の松江移住へつなげる。	1,125千円/年 増	産業経済部
3,949			8,980	6,352	—					

KPI進捗管理表（★は総合計画掲載のKPI）

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R5年度は1月末実績)				R5年度 中間実績値の分析 (1月末時点)	課題 (1月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R3	R4	R5	R6				
 小泉八雲が五感で感じた 松江の生活文化	★ 多文化理解を促進する事業への参加者数 【4月～3月】	人	1,400	1,800	2,000	2,200	出前講座の他、市主催の多文化理解講座などを実施しており、概ね順調に参加者の増加に繋がっている。	出前講座については同じ団体から毎年継続しての依頼が多く、これまでに依頼のない学校・団体等へのPRが課題である。	毎年+200人	観光部
			1,744	2,056	2,000	—				
	小泉八雲記念館の入館者数 【4月～3月】	人	92,000	92,000	92,000	92,000	年度当初は新型コロナウイルス感染症の影響が続いたものの、入館者数は前年比129.6%と順調に回復している。コロナ禍前の利用者数までの回復には至っておらず、目標値を下回っている。	小泉八雲の展示施設・研究拠点として、小泉八雲旧居と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。	H24-H28の平均	文化スポーツ部
	★ 歴史・文化資源のまち歩き参加者数 【4月～3月】	人	180	240	240	240	R4年度に「まち歩きマップ」を改訂増刷した8地区（大庭、本庄、法吉、乃木、大野、宍道、城北、白潟）で「まち歩き」を実施。（4月～11月）	参加者の特徴として、60代から70代の高齢者数が大半を占め、参加者の年代に偏りがある。参加者のうちリピーターの占める割合が概ね半数以上となっている。地元ガイドの person 費や運営経費を捻出するため参加料を徴収するなど財源を確保し、持続可能な活動展開に取り組む必要がある。（R4年度から参加者アンケート結果に基づく参加料500円を徴収）	[R3] 20人×9回	文化スポーツ部
			182	214	198	—	雨の影響により、当日参加者が大幅に減少した地区があったため目標を達することはできなかったものの、申込者数はほぼすべての地区で定員を上回った。		[R4~] 20人×12回	
 市民とともに育む 文化芸術活動	松江市民美術展来場者数	人	1,575	1,650	1,725	1,800	直近3年の来場者数は、R2年度1,005人、R3年度940人、R4年度1,061人であり、ここ3年では一番多い来場者となった。一方で、10年前と比較すると来場者は約55%減少している。	公募作品の出品数が減少傾向にあり、そのことが、来場者数の伸び悩みに影響を与えていると考えられる。高校生の出品が増加しているものの、若い世代の入場者が少ない。	毎年+75人	文化スポーツ部
			940	1,061	1,157	—	過去17年のデータをもとに、出品数が増加することで、来場者数も増加する相関関係にあることがわかる。			
	松江市民文化協会加盟団体の団体数	団体	100	105	110	115	活動の継続が困難になって退会する団体があった一方、コロナ禍による活動制限が緩和されたことにより、新規加入団体が増加し、令和4年度末に比べ、加入団体が増加した。	新型コロナウイルス感染症の影響は緩和されてきたが、年齢や加入人数の減少などを理由に退会する団体がある。加入団体を見ると、若者が少ない。団体の活動・発表の場の確保が必要。	毎年+5団体	文化スポーツ部
	八雲林間劇場（しいの実シアター）の利用者数 【4月～3月】	人	5,184	5,930	6,048	6,169	目標値は達成していないものの、H30年度：5,766人、R1年度5,705人と利用者数は新型コロナウイルス感染症まん延以前に戻りつつある。	平常時（松江・森の演劇祭（3年に1度）開催以外）の貸館の利用拡大に向けたPR、広報に努める必要がある。近隣のかやぶき交流館と合わせて、一体的な施設のあり方、活用方針を検討する必要がある。	毎年+2%	文化スポーツ部
			3,964	6,781	5,442	—				

KPI進捗管理表（★は総合計画掲載のKPI）

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R5年度は1月末実績)				R5年度 中間実績値の分析 (1月末時点)	課題 (1月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R3	R4	R5	R6				
 伝統文化芸術の 拠点となる施設	★ プラバホール施設利用者数 ※令和4年度、5年度休館 【延べ利用者数/4月～3月】	人	85,000	-	7,400	100,000	R6.10月より一部貸館施設を再開。大ホールが利用できない状況であり、大ホールと合わせた利用（控室としての利用等）がないため、目標値を下回っている。	R6年4月に全館再開予定であり、再開に向けた準備やPRを行っていく必要がある。	・R11年度の目標値120,000人に向けて、経年的に設定 ・R6年度のみリニューアルイベント実施を考慮 ・R5年度はR3年度実績値から設定	教育委員会
			46,665	-	3,659	-				
	★ 松江歴史館観覧者数 【4月～3月】	人	52,100	51,000	52,000	53,000	新型コロナウイルス感染症による行動制限等がなくなったことにより、前年度に比べて観覧者数は増加した。特に学校が休みに入った夏から行楽シーズンの秋にかけて観光客が増加したことに伴い、当館の観覧者数も増加したが、コロナ禍前の観覧者数までには至っていない。	観覧者は入館者の約半数にとどまっている。また、近隣施設である松江城などに比べ、入館者・観覧者が少なく、近隣施設での効果的な広報等も行っていく必要がある。	毎年+1,000人	文化スポーツ部
			28,760	42,673	39,486	-				
	出雲かんべの里 利用者数 【4月～3月】	人	53,000	54,000	55,000	56,000	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に努めながらも利用者数の増加のため様々な工夫がされており、目標を達成することができた。また、前年度の同時期と比べても増加している。	民話館は、パネル展示をはじめ、映像機器の故障等の課題があるため機器の修繕等を検討する必要がある。	毎年+1,000人	教育委員会
			60,003	61,052	50,090	-				
 宍道湖・堀川・中海等の 松江的景観	★ 水辺の公共空間活用日数 【4月～3月】	日	182	174	174	175	実績値は年度末に集計するため達成状況は不明だが、新型コロナウイルス感染症の影響も収束に向かい、令和4年度同様、民間事業者による利活用が進んでいるため順調に推移していると考えられる。	水辺の公共空間の活用について、各所で賑わいが生まれているが、日常的な賑わいにはまだ繋がっていない。今年度河川空間のオープン化を行い、民間事業者の活用が進み、水辺の公共空間が日常的に賑わうよう利用促進に取り組む必要がある。	【中心市街地活性化基本計画】 基準値：548日 (H26年～30年度累計) ↓×約1.73倍 目標値：948日(R元年12月～7年3月累計)	都市整備部
			368	458	-	-				
	松江市伝統美観保存区域等 修景事業費補助金 補助件数 【平成19年度からの累計】	件	54	56	58	60	清光院下景観形成区域で工作物の改修、伝統美観保存区域（塩見縄手地区）で建築物の改修について2件の補助申請があったが、目標値には到達していない。	補助金を活用いただくために、補助金の制度や、根拠となる松江市景観計画を継続して区域内の方に周知を図る必要がある。	毎年+2件	都市整備部
			53	55	57	-				
	ジオパーク関係イベント入込客数 【4月～3月】	人	2,000	2,200	2,400	2,600	子ども向け体験イベントをはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値に近い入込客数があった。	幅広い世代を対象としたジオパークに興味を持ってもらえるようなツアーやイベントを開催し、入込客数を増やしていく必要がある。	毎年+200人	文化スポーツ部
		1,949	2,134	2,264	-					

KPI進捗管理表（★は総合計画掲載のKPI）

資料②

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R5年度は1月末実績)				R5年度 中間実績値の分析 (1月末時点)	課題 (1月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R3	R4	R5	R6				
情報発信	松江市HP文化関係ページのアクセス数 【4月～3月】	件	200,000	210,000	220,000	230,000	新ホームページへ移行して1年が経つが、旧ホームページだった昨年度の同時期よりも閲覧数は増加している。昨年度から行っている文化芸術関係のイベントを動画で撮影し、コンテンツとしてHPへ掲載することでHPの充実を図ったことも要因と思われる。	ホームページの構成を見直したため、情報がまとまり閲覧しやすい状況にはなつたものの、より多くの方に閲覧いただくために、より魅力的なコンテンツを掲載するとともに、HPへ流入する手法を検討する必要がある。	毎年+10,000件	文化スポーツ部
			199,082	132,933	110,349	—				
	松江市文化協会HPのアクセス数 【8月～10月平均】	件	23,521	23,991	24,470	24,959	今年度は、例年より1か月遅い11月に市民文化祭を開催したことにより、閲覧数のピークが後ろ倒しになり、目標値を達成できなかった。	松江市文化協会の加盟団体数が伸び悩んでおり、各団体の高齢化も進んでいるため、若い人にも訴求できるHPにする必要がある。	毎年+2%	文化スポーツ部
			23,521	23,559	22,403	—				
	公式X(旧Twitter) 【松江城with史料調査課】の フォロワー数 【4月～3月】	人	700	800	900	1,000	R2年12月に開設以来、順調にフォロワー数が伸び、目標値を達成している。	松江城のイベント情報などは受け取る側の需要もあるが、調査研究情報は一方的になりがちである。届けたい相手に情報が届く工夫が必要。	毎年+100人	文化スポーツ部
			710	985	1,131	—				
人材育成	松江の文化力体験推進事業の 講座・体験教室の実施件数 【4月～3月】	件	—	20	22	24	講座・体験教室の選定、協力団体との調整の結果、実施件数が当初の目標を下回った。	子どもと保護者が興味関心を持って楽しく学び・体験できるよう、講座や体験教室の内容や実施時期について検討する必要がある。	毎年+2件	文化スポーツ部
			—	13	11	—				
	松江の文化力体験推進事業の 講座・体験教室の参加者数 【4月～3月】	人	—	2,300	400	500	R4年度は、新型コロナウイルス感染症の対策として定員数を減らして開催していたが、R5年度はコロナ禍の影響が限定的になったため、順調に推移している。	子どもと保護者が興味関心を持って楽しく学び・体験できるよう、講座や体験教室の内容や実施時期について検討する必要がある。	R4年度実績値から 毎年+100	文化スポーツ部
			—	294	362	—				
資金	ふるさと納税受入額 【4月～3月】	千円	200,000	200,000	300,000	500,000	返礼品の充実やポータルサイトの増設、各種PR等の取り組みの結果、目標値である寄附金額3億円を達成できた（前年度同期比：178%）。	返礼品の一層の充実を図りながら、寄附の使い道を入口とした寄附募集等、様々な角度で寄附者層の拡大を図る必要がある。	R4年度目標の150%	産業経済部
			157,187	210,514	350,508	—				